2018年度 事業報告

1　2018年度 事業報告

1. はじめに

2013年6月カンボジア・プノンペンで開催された第37回ユネスコ世界遺産委員会において、富士山が「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されてから本年6月で5周年を迎えました。2016年1月に「保全状況報告書」を提出し同年7月の第40回世界遺産委員会で高い評価を受けた後、その保存管理の進捗状況をまとめた2回目の「保全状況報告書」が本年11月26日（現地時間）にパリのユネスコ世界遺産センターへ提出されました。その内容は2019年6～7月にアゼルバイジャン・バクーで開催される予定の第43回ユネスコ世界遺産委員会において審議される予定となっております。

当法人は昨年に引き続き、世界遺産富士山の保全とその普遍的価値の後世への継承のため、静岡、山梨両県との連携を強化し、富士山の幅広い PR・啓発活動を実施いたしました。本年は、「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」教材のオンライン配布の開始、2 回目を迎えた「富士山書き初め」は新たに高校生の部を加えて、小・中学生から高校生までを対象としたコンテストとして実施し、若年層に向けた富士山の普遍的価値の啓発活動の幅をさらに広げることになりました。

2. 主要な活動とトピックス

(1) ベトナムの女性向け情報誌「Kilala」の富士山特集号（2018年1月5日発行）で、富士山インタビューと富士山会議にご協力いただいている富士山関連商品紹介の記事が掲載されました。

(2) 1月15日(月)、静岡・山梨両県とともに2013年より推進してきた「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の教材のオンライン配布を開始いたしました。

(3) 1月21日(日)、「富士山書き初め2018」の表彰式が毎日ホールで開催されました。それに先駆け、1月19日(金)毎日新聞夕刊で受賞作品と当法人青柳正規理事長のインタビュー記事が掲載されました。また受賞作品が1月17日(水)～24日(水)に毎日新聞社1階スペースで展示されました。

(4) 1月26日(金)～2月8日(木)に静岡県富士山世界遺産センターで「富士山書き初め2018」受賞作品を展示しました。

(5) 2月10日(土)、日本橋会館で開催された富士山をテーマとした短歌コンテスト「富士山大賞」の表彰式会場で、PR・募金活動を実施しました。

(6) 2月10日(土)～2月22日(木)に山梨県立富士山世界遺産センターで「富士山書き初め2018」受賞作品を展示しました。

(7) 2月15日(木)、全国都市開館で開催された、第10回富士山世界文化遺産学術委員会にオブザーバー出席しました。

(8) 2月16日(金)、東京のTKP市ヶ谷カンファレンスセンターで開催された、第22回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産のリコンストラクションに関する世界動向」に出席しました。

(9) 2 月 23 日(木)、山梨県富士吉田市のハイランドリーゾートホテル&スパで開催された、山梨・静岡両県主催の「富士山の日フェスタ 2018」に青柳理事長以下出席しました。会場では、「富士山書き初め 2018」受賞作品の展示と「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」教材オンライン配布の紹介、当法人の活動理解促進のPR活動を実施しました。

(10) 2 月 27 日(火)、当法人の2018年度定時総会・理事会を東京・霞ヶ関の霞山会館で開催しました。

(11) 3 月 27 日(火)、山梨県富士吉田市のハイランドリーゾートホテル&スパで開催された、第10回富士山世界文化遺産協議会にオブザーバー出席しました。2018 年 11 月末にユネスコに提出する保全状況報告書、2017 年度事業報告と決算、2018 年度事業計画と予算が承認されました。

(12) 4 月 21 日(土)、群馬県前橋市の群馬県庁昭和庁舎と前橋公園で実施された健康登山塾(日本山岳会群馬支部主催)で PR 活動を実施しました。

(13) 静岡・山梨両県が 2018 年より作成した「富士登山の混雑予想カレンダー」が「富士山オフィシャルサイト」に掲出されたのに伴い、当法人のホームページのニュース欄での告知とバナー掲出を実施しました。

(14) 6 月 4 日(月)、1 月に開始した「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の教材のオンライン配布の紹介記事が日本教育新聞に掲載されました。

(15) 6 月 22 日(金)、東京都千代田区の都道府県会館で開催された「富士山世界遺産登録 5 周年記念シンポジウム」に青柳理事長以下出席しました。参加者に富士山書き初めチラシ、ステッカー、ポストカード、クリアファイルなどを配布しPR活動を実施しました。

(16) 6 月 23 日(土)、静岡県・山梨県両県が好日山荘池袋西口店で開催した富士登山予定者向けセミナーで、参加者にステッカー、ポストカード、クリアホルダーなどを配布し PR 活動を行いました。

(17) 7 月 5 日(木)、会員である㈱電通の富士登山の説明会場で、PR・啓発活動を実施しました。

(18) 7 月 9 日(月)～20(金) に㈱電通で実施された Dentsu Fujisan Week のエントランス展示において、富士山会議の活動紹介パネル展示と募金箱の設置を行いました。

(19) 啓発用ポストカードを本年も富士山の山小屋等で配布。夏山の登山者、来訪者に対しての啓発活動を展開しました。

(20) 富士山会議ロゴ入りビニールケースを富士山の各山小屋、登山口、登山者セミナー、登山ツアー等で配布し、スローガン「いつまでも富士山を世界遺産に」の浸透をはかりました。

(21) 富士山の登山シーズンに合わせて、富士山会議ホームページのニュース欄や Facebook 等で「富士山混雑予想カレンダー」と「富士山保全協力金」の情報を告知し、静岡・山梨両県の周知活動に協力しました。

(22) 7 月 27 日(金)、山梨県富士吉田市で開催された「第 71 回富士登山競走」でPR・募金活動を実施しました。

(23) 7 月 29 日(日)、松屋銀座8階イベントスペースで実施された“武田菱丸と学ぶ「富士山」“で PR 活動を行いました。

(24) 8 月 1 日(水)、高校生の部を新設して「富士山書き初め 2019」コンテストの作品募集を開始しました。

(25) 8 月 2 日(木)、静岡市のしずぎんホールで開催された静岡県主催の富士山世界遺産登録5周年記念事業「富士山万葉集シンポジウム」で PR 活動を行いました。

(26) 8 月 6 日(月)～8 月 17 日(金)の平日 10 日間 、登山者の富士山保全協力金への協力を促進するため、株式会社大塚製薬工場様からの寄付品 OS-1 パウダー500ml用を、富士山会議ロゴ入りビニールケースとセットして、山梨県吉田口で保全協力金を支払った登山者へ配布しました。

(27) 9月14日(金)、公益財団法人富士山をきれいにする会主催の「富士山環境美化後期クリーン作戦2018」の5合目周辺の清掃活動に参加するとともに、参加者へ富士山会議PRツールを配布しました。

(28) 9月13日(水)、第10回収容力勉強会にオブザーバー出席しました。

(29) 10月8日(月・祝)、東京・大手町の日経ホールで開催された、文化遺産国際協力コンソーシアムと文化庁が主催するシンポジウム「文化遺産国際協力のかたち―世界遺産を未来に伝える日本の貢献―」に参加しました。

(30) 10月12日(金)、都道府県会館(東京都千代田区)で開催された第11回富士山世界文化遺産学術委員会にオブザーバー出席しました。

(31) 10月31日(火)、富士山書き初めコンテストの作品応募を締め切りました。応募総数は13,264作品でした。

(32) 11月6日(火)～22日(木)にフランス・パリで開催された『13th「富士山を世界に」展 in パリ』に協力しました。

(33) 11月9日(金)、ルポール麹町会議室(東京都千代田区)で開催された第6回富士山利用者負担専門委員会にオブザーバー出席しました。

(34) 11月25日(日)、東京・竹橋の毎日ホールで、「富士山書き初め2019」 最終審査会が行われました。

(35) 12月5日(水)、富士山会議会議室で、山梨県、静岡県、およびNHKエデュケーショナルと共に、「富士(ふじ)の国(くに)づくりキッズ・スタディ・プログラム」の全体会議を開催しました。

(36) 12月14日(金)、静岡県富士山世界遺産センターで開催された開館1周年記念コンサートに出席しました。

(37) 「富士(ふじ)の国(くに)づくりキッズ・スタディ・プログラム」の利用促進策を検討するため、教材の利用実態調査を山梨・静岡両県の小学校を対象に11月～12月の期間に実施しました。

(38) 静岡県富士山世界遺産センターの秋季特別展および企画展「富士山と須走口～須走口登山道調査速報展」の開催情報の告知に協力しました。

4ページ以降、各活動の報告の詳細です。

2 各種委員会の運営
3 オブザーバー出席した各種会議
4 主催および共催事業
5 後援事業およびPR/啓発活動
6 富士山基金事業と富士山基金への寄付

2　各種委員会の運営

1）運営委員会

日時　1月23日(木)、3月16日(金)、4月11日(水)、5月18日(金)、6月27日(水)、
7月25日(水)、8月23日(木)、9月25日(火)、10月31日(水)、12月4日(火)
計 10回

場所　富士山世界遺産国民会議事務局

内容　活動内容の検討と活動報告

2）評議員会

日時　3月7日(火)/第70回、 5月29日(月)/第71回、7月31日(火)/第72回
10月9日(火)/第73回、 12月18日(月)/第74回
計5回

場所　富士山世界遺産国民会議事務局

内容　活動内容の検討と活動報告

3　オブザーバー出席した各種会議

1）富士山世界文化遺産協議会

第10回

日時　3月27日(火)

場所　ハイランドスパホテル&リゾート(山梨県富士吉田市)

2）富士山世界文化遺産学術委員会

第10回

日時　2月15日(木)

場所　全国都市会館(東京・千代田区)

第11回

日時　10月12日(金)

場所　都道府県会館(東京・千代田区)

3）富士山利用者負担専門委員会

第6回

日時　11月9日(金)

場所　ルポール麹町会議室(東京・千代田区)

4　主催および共催事業

●富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムについて

1 月 15 日（月）より、静岡・山梨両県とともに 2013 年より推進してきた「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の教材のオンライン配布を開始いたしました。若年層の世界文化遺産富士山の普遍的価値の啓発のため、全国の教育関係者からのアクセスを図ります。

2018 年度は山梨県・静岡県の世界遺産課および教育委員会の協力を得て、各小学校への普及活動を推進しました。また、利用促進施策を検討するため、11 月～12 月に両県の小学校に対して、会員社である㈱電通の協力により利用実態調査を実施しました。調査結果を検討し、普及活動に生かしてまいります。

今後も山梨県、静岡県、およびNHKエデュケーショナルと共に定期的に会議を開催し、WEB サイトへのアクセス状況の分析や利用実態調査の課題共有、利用促進施策の推進に取り組んでまいります。

静岡県・山梨県両県の世界遺産センターのホームページや教育関係者がアクセスするサイト等にリンクバナーを貼り、オンライン配布サイトへのアクセスの拡大を図りました。

6月4日(月)発行の日本教育新聞に紹介記事が掲載されました。

江戸の町人文化を学ぶ
富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム

11月26日(現地時間)にパリのユネスコ世界遺産センターへ提出された「保全状況報告書」の**V情報提供戦略(interpretation strategy)**に、「山梨県・静岡県は、富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム(KSP)の教材を県内全小学校に配布して授業での活用を促進している。 静岡県は、2016年に、KSPの教材等を活用し、富士山麓の小学校と遠隔地の小学校をテレビ会議で結び、富士山や郷土の歴史について学ぶ交流学習を実施した。 山梨県・静岡県は、2018年に、NPO法人とともに、全国の小学生に幅広く学んでもらえるよう、KSPの教材をインターネット上で公開し、全国的な活用を図っている。【参考資料8(P59)】」という内容で、進捗状況が記載されました。

V 情報提供戦略 (interpretation strategy)

<参考資料8>富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムの実施

■概要

・認定NPO法人富士山世界遺産国民会議と山梨県・静岡県は、浮世絵「富嶽三十六景」を教材とした教材を利用した授業を小学校で実施することを通じて、富士山の文化的価値を知り、「富士山」や「日本」を大切に思う気持ちを醸成することを目的としたプログラムを推進している。

■取組内容

・2012年に、社会科指導用教材を開発し、山梨県・静岡県の全小学校と東京都の一部小学校に配付し、社会科等の授業において活用を図り、2015年には、より使いやすくするため教材の改定を行った。

・さらに2018年には、これまでに開発した教材等をデジタル化し、全国の学校現場等で幅広い活用促進を図っていく。

webサイト
(https://www.fujinokuni-kids-study.jp/)

富嶽三十六景全データ

映像教材

富士見地図

<その他提供資料>
・指導案
・授業解説
・ワークシート
・浮世絵解説
・歴史解説　等

59

●「富士山書き初め 2018」について

世界文化遺産富士山の普遍的価値の啓発を目的に、2017 年 8 月～10 月に第 1 回目の募集をした「富士山書き初め 2018」は小学生低学年、小学生高学年、中学生の部合わせて 13,297 点の応募がありました。2018 年度は、以下の活動を展開いたしました。

① 1 月 16 日（火）、毎日新聞全国朝刊で「富士山書き初め」受賞者決定のニュース（社告）が掲載されました。

富士山 書き初め 2018
FUJISAN KAKIZOME

応募1万3297点、受賞者決まる

子どもたちに富士山をもっと身近に感じてもらうため、富士山をテーマに今年から始まった書き初めのコンクール「富士山書き初め2018」の受賞者が決定しました。

小学生低学年、小学生高学年、中学生の部でそれぞれ作品を募集し、合わせて1万3297点の応募があり、6人の審査委員（委員長＝仲川恭司・毎日書道会理事、独立書人団理事長）が最優秀賞など各賞を選びました。

21日に東京都千代田区一ツ橋1の1の1の毎日ホール（パレスサイドビル地下1階）で表彰式を開き、17～24日に同ビル1階で受賞作を展示します。受賞者は次の通り。（敬称略）

【小学生低学年】△最優秀賞▽高松市立川添小1年・児玉和城△毎日新聞社賞▽奈良県橿原市立畝傍東小3年・杉本紗菜△山梨県知事賞▽和歌山県紀美野町立下神野小3年・岡本実穏△静岡県知事賞▽和歌山県広川町立津木小3年・落合結菜△富士山世界遺産国民会議賞▽山口県下関市立川中小2年・石橋亜樹、同市立熊野小3年・志摩葵

【小学生高学年】△最優秀賞▽静岡県牧之原市立相良小6年・矢部ひかり△毎日新聞社賞▽鳴門教育大学付属小5年・山根由衣△山梨県知事賞▽青森市立浪岡北小6年・工藤咲彩△静岡県知事賞▽富山県上市町立相ノ木小6年・早瀬うらら△富士山世界遺産国民会議賞▽高松市立川添小4年・児玉光瑞葵、同市立栗林小6年・本岡愛唯

【中学生】△最優秀賞▽和歌山市立西浜中2年・的場弩海△毎日新聞社賞▽和歌山県有田市立保田中3年・上田夏瑠△山梨県知事賞▽千葉大学教育学部付属中1年・細島未羽△静岡県知事賞▽弘前大学教育学部付属中1年・石黒佑華△富士山世界遺産国民会議賞▽静岡市立安東中2年・竹下弥央、甲府市立富竹中2年・開沼大河

主催 毎日新聞社、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議／後援 山梨県、静岡県／協力 公益財団法人独立書人団／協賛 米久株式会社

② 1 月 17 日（水）～24 日（水）、毎日新聞社 1 階東側フリースペースで、巡回展示第一弾を実施しました。

③ 1 月 19 日(金)、毎日新聞夕刊で、1 ページ(全 15 段)の特集記事が掲載されました。

文を尊び 山に学び

富士山 書き初め 2018

子どもたちに富士山をもっと身近に感じてもらおうと、書き初めのコンクール「富士山書き初め2018」（毎日新聞社・認定NPO法人富士山世界遺産国民会議主催、山梨県・静岡県後援、公益財団法人独立書人団協力、米久株式会社協賛）が今年から始まった。小学生低学年、高学年、中学生の部で作品を募集、合わせて1万3397点の応募があった。課題は低学年が「ふじ」「朝やけ」、高学年は「白雪」「富士山」、中学生は「登頂」「霊峰富士」。各部門で最優秀賞が1点、毎日新聞社賞が1点、山梨県知事賞が1点、静岡県知事賞が1点、富士山世界遺産国民会議賞が2点選ばれた。

各部門の受賞者名、上位部門受賞の作品を紹介する。また、富士山世界遺産国民会議の青柳正規理事長に日本での富士山や書き初めの文化について話を聞いた。

なお、受賞作は毎日新聞東京本社（東京都千代田区一ツ橋1）で24日まで展示中。表彰式は21日に行われる。

富士の美しさ感じて

認定NPO法人 富士山世界遺産国民会議
青柳正規 理事長

中国・大連出身。東京大名誉教授。国立西洋美術館館長、文化庁長官を歴任。ポンペイ遺跡発掘に携わった

――子どもたちの書を見ての感想をお願いします。

◆ひらがな、漢字どちらの書からも一人一人の頭の中にある富士山が浮かび上がってきます。最優秀賞を受賞した小学校1年の作品「ふじ」からはとてもふくよかで、きれいに書くことへの喜びが初々しく出ています。小6の作品は端正で、きちんと書かれていますし、中2の作品は富士山の神々しさが文字に表現されていると思いました。

――日本の伝統行事である書き初めの意味とは？

◆もともとは宮中で行われていた儀式でしたが、江戸時代以降、庶民にも広がった習慣です。和紙に向かい新しい一年を出発させるために文字から始める。「文」を尊ぶ社会の気風、習慣の表れだったのです。書にきちんと座り、筆を持ち字を書くという作法はこれからも大切にしていかなければならないと思います。

――若い世代にとって富士山の持つ意味は？

◆若い人たちにはさまざまな場面で文化的な豊かさを感じ取ってほしいですね。ことに富士山は写真、絵画、小説などの題材として数多く取り上げられています。実物は見る機会がなくても、芸術作品にふれることで、富士山の美しさを感じてほしい。またそうした経験の積み重ねによって富士山の象徴性、美しさが日本人の心の中に定着するのではないでしょうか。日本の文化的豊かさ、日本を愛することにもつながってくると思います。

――若い世代に伝統文化が根付いていないという声もあります。

◆どんな時代にも「今の若者は……」という意見はあります。ただ、文化は継続しておりますし、継承するものですから、一つの枠の中に押し込めるのでなく、若い人の持っている新しいエネルギーを伸ばしてあげることも大切だと思います。ただ、現実には伝統文化に触れることが少なくなってきています。小中学生の時にそうした機会を作ってあげることは必要ですね。畳は日本文化にとって大切なものです。畳に正座する、襖、大の字に寝転がってもいい。畳があることで日本文化に触れることができるのです。「各小学校に畳のある部屋が一つあればいいなあ……」と思います。【聞き手・小川節子】

受賞者一覧 敬称略

小学生低学年

<最優秀賞>高松市立川添小1年・児玉和城<毎日新聞社賞>奈良県橿原市立鴨公小3年・杉本紗菜<山梨県知事賞>和歌山県紀美野町立下神野小3年・岡本実穂<静岡県知事賞>和歌山県広川町立津木小3年・落合紗菜<富士山世界遺産国民会議賞>山口県下関市立川中小2年・石橋蓮樹、同市立熊野小3年・志摩葵

小学生高学年

<最優秀賞>静岡県牧之原市立相良小6年・矢部ひかり<毎日新聞社賞>鳴門教育大学付属小5年・山根由衣<山梨県知事賞>青森市立浪岡北小6年・工藤咲彩<静岡県知事賞>富山県上市町立相ノ木小6年・早瀬うらら<富士山世界遺産国民会議賞>高松市立川添小4年・児玉光瑠奏、同市立栗林小6年・本田愛唯

中学生

<最優秀賞>和歌山市立西浜中2年・的場琴海<毎日新聞社賞>和歌山県有田市立保田中3年・上田夏瑠<山梨県知事賞>千葉大学教育学部付属中1年・飯島未羽<静岡県知事賞>弘前大学教育学部付属中1年・石岡佑華<富士山世界遺産国民会議賞>静岡市立安東中2年・竹下弥央、甲府市立富竹中2年・興梠大翔

総評

最終審査委員の二人に受賞作の総評を聞いた。

仲川恭司 審査委員長
（一財）毎日書道会理事
（公財）独立書人団理事長

イメージが文字に

みなさんに富士山のイメージがしっかりとあるので、そのイメージがうまく文字に表れていた。のびやかさ、さわやかさなど、文字にその気持ちが乗っているのを感じた。富士山を大事にしようという気持ちが表現されている作品が多かった。また、上位入賞者の作品には書ならではの文字の美しさが見て取れた。

長野秀章 審査委員
東京学芸大学名誉教授
前文部科学省教科調査官

気持ち表れていた

小学校低学年から中学校まで9学年にわたって審査した。実力的にも高いレベルの作品が多かった。参加していただいた保護者、指導者、本人の気持ちが作品に表れていた。特定の課題に対し、それぞれの学年の実力に応じて取り組んでいた。書くというのは、ただ文字を書くのではなく、言葉を書くことだ。字形が整うことも大事だが、言葉を書くという気持ちも大切だ。

ふじ 小一 こだまかずき

小学生低学年の部 最優秀賞
児玉和城さん

朝やけ 三年 杉本紗菜

小学生低学年の部 毎日新聞社賞
杉本紗菜さん

富士山 小六 矢部ひかり

小学生高学年の部 最優秀賞
矢部ひかりさん

白雪 小五 山根由衣

小学生高学年の部 毎日新聞社賞
山根由衣さん

霊峰富士 中二 的場琴海

中学生の部 最優秀賞
的場琴海さん

登頂 中三 上田夏瑠

中学生の部 毎日新聞社賞
上田夏瑠さん

yonekyu

御殿場高原あらびきポーク

肉だんご 甘酢たれ2袋付

いつまでも富士山を世界遺産に

商品の売上の一部を、富士山基金に寄付しています。

【富士山基金とは】
認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が運営。富士山保全や啓発活動などに使われています。

米久株式会社は、富士山の麓である静岡県沼津市に本社を置く企業として、2009年より、富士山の世界文化遺産登録を支援する目的で「富士山基金」への寄付を実施してきました。2013年6月22日に世界文化遺産に登録された後も、寄付活動を通じて、引き続き富士山の保全活動支援に協力しています。

米久株式会社
静岡県沼津市岡宮寺林1259番地
TEL 055-922-5321
HP http://www.yonekyu.co.jp

毎日新聞 1 月 19 日(金)夕刊

④ 1 月 21 日(日)、東京・竹橋の毎日ホールで「富士山書き初め 2018」表彰式が開催され、青柳理事長、毎日新聞社手塚取締役の主催者挨拶、審査委員からの総評、受賞作品表彰が行われました。受賞者代表からは、富士山を何度も見たり、思い浮かべたりして、一生懸命作品に仕上げた等の感想がありました。

青柳理事長、最優秀賞を贈賞。

山梨県立川部長、山梨県知事賞を贈賞。

静岡県西田部長、静岡県知事賞を贈賞。

表彰式:受賞者のみなさんとの記念写真

⑤ 1 月 22 日(月)、静岡新聞と山梨日日新聞に表彰式と両県出身受賞者紹介およびインタビューの記事が掲載されました。

矢部さん(牧之原相良小)最優秀

富士山書き初め 竹下さん(静岡安東中)入賞

竹下弥央さん　矢部ひかりさん

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議などが主催する「富士山書き初め」の表彰式が21日、東京都内で開かれた。牧之原市立相良小6年の矢部ひかりさん(12)が小学生高学年の部で最優秀賞を、中学生の部で静岡市立安東中2年の竹下弥央さん(14)が富士山世界遺産国民会議賞を受賞した。

小学生低学年、小学生高学年、中学生の部でそれぞれ作品を募集し、計1万3297人の応募があった。

矢部さんは「細かなバランスに気を配った。中学進学後は勉強や部活で忙しくなるが書道を続けていきたい」と喜びを語った。

竹下さんは「先生や祖母の指導を受けて書いた作品なので、すごくうれしい。今後は自由で表現力がある字を書けるようになりたい」と話した。(社会部・菊地真生)

静岡新聞

富士山書き初めコンクール

富竹中・開沼さん 国民会議賞受賞

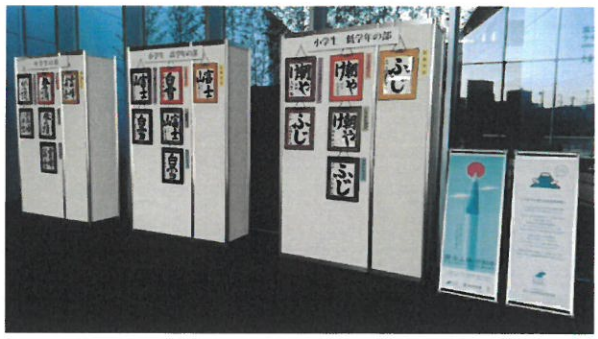
富士山をテーマにした書のコンクール「富士山書き初め2018」(認定NPO法人富士山世界遺産国民会議など主催)で、県内から甲府・富竹中2年の開沼大河さん=写真=の作品が同国民会議賞を受賞した。東京都内で21日、表彰式が行われた。

富士山書き初めは、子どもたちに富士山を身近に感じてもらおうと初めて開かれ、小学生低学年、高学年、中学生の3部門に全国から1万3297点の応募があった。表彰式では、最優秀賞などを受賞した各部門6人が賞状や記念品を受けた。

中学生の部は「登頂」「霊峰富士」が課題で、開沼さんは応募3033点の中から同国民会議賞に選ばれた。「霊峰富士」を書いた開沼さんは「いつも近くで見ている大好きな富士山に思いを寄せて書いた」と振り返り、受賞を喜んだ。クラブチームで野球をしているといい「練習中もグラウンドから富士山を見て力をもらっている。これからも富士山のことを大切に感じていきたい」と話していた。

山梨日日新聞

⑥ 1月26日(金)～2月8日(木)、静岡県富士山世界遺産センター(静岡県富士宮市宮町)1階アトリウムで受賞作品を展示しました。



⑦ 2月10 日(土)～2月22日(木)、山梨県立富士山世界遺産センター(山梨県富士吉田市)南館1階受付横で受賞作品を展示しました。

⑧ 2月23日(金)、「富士山の日フェスタ」2018(主催:山梨県/静岡県、山梨県富士吉田市ハイランドリゾートホテル&スパにて開催)会場で受賞作品を展示しました。

●「富士山書き初め 2019」について

第 2 回目となる「富士山書き初め 2019」は高校生の部を新設し、全国の小学生、中学生、高校生から 13,264 点の応募がありました。2018 年度の実施内容と活動概要は以下のとおりです。

＜実施内容＞

主催：認定NPO法人富士山世界遺産国民会議、毎日新聞社

後援：静岡県、山梨県

協力：公益財団法人独立書人団

認証：beyond2020 プログラム(初年度につづき、本年度も取得)

主旨：日本の伝統行事である書き初めを通して、世界文化遺産である富士山の文化や環境を守る心を育むため。

応募区分：①小学生低学年の部
②小学生高学年の部
③中学生の部
④高校生の部（2018 年度より新設）

賞　　：各部門につき、最優秀賞1点、静岡県知事賞1点、山梨県知事賞1点、
毎日新聞社特別賞1点、富士山世界遺産国民会議賞2点

課題　：富士山に関するもの。各部門2点の課題。
【小学生低学年】　「ふじ」　「日本一」
【小学生高学年】　「富士山」「雲海」
【中学生】　「赤富士」「世界遺産」
【高校生】　「いつまでも富士山を世界遺産に」「霊峰富士」

＜活動概要＞

① 静岡県・山梨県両県のご協力により、教育・文化関連各施設に対して応募開始８月１日(水)に先駆けて告知を行いました。また両県世界遺産課および富士山世界遺産センターのホームページに「富士山書き初め 2019」のバナーを掲出されました。

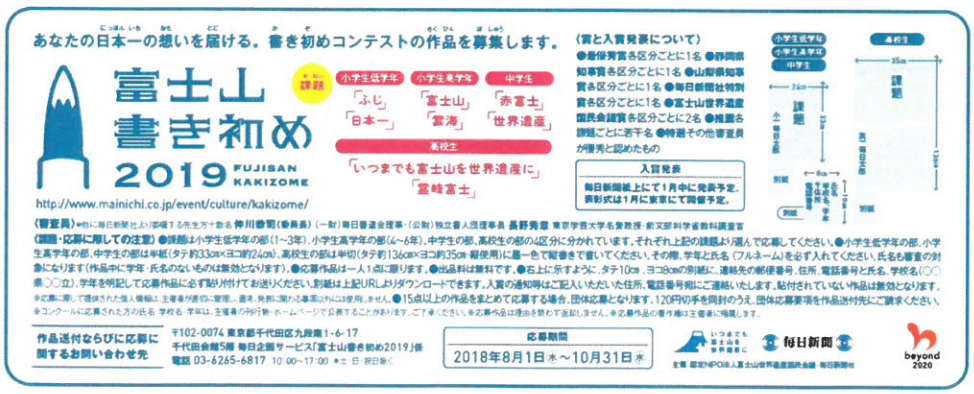
② ８月１日(水)の「富士山書き初め 2019」の募集開始にあわせて、毎日新聞に全国に社告と募集告知広告が掲載されました。

富士山書き初め 作品募集

beyond2020プログラム

③ 会員各社、協力会社のホームページ掲載とチラシ配布による募集告知の展開のほか、富士山吉田口５合目佐藤小屋、毎日新聞甲府支局でも ポスター掲出・チラシ設置のご協力をいただきました。

④ 毎日小学生新聞では８月 23,28 日、９月 5,11 日に募集告知広告が掲載されました。



⑤ 最終審査会が 11 月 25 日（日）に東京・竹橋の毎日ホールで行われました。8 月 1 日～10 月 31 日に全国で募集を行い、。今年から新たに高校生の部（半切）を加え、小学生低学年・高学年、中学生、高校生の 4 区分、8 課題で 13,264 点の応募がありました。高校生の芸術性の高い意欲的な作品も集まり、バラエティ豊かな質の高いコンテストとなりました。静岡・山梨両県では、応募告知・促進のご協力により、静岡県 1,061 件（対前年 448 件増 173%）、山梨県 534 件（対前年 200 件増 160%）の応募数となりました。審査委員長の仲川恭司先生（毎日書道会理事・独立書人団理事長）、審査委員の長野秀章先生（東京学芸大学名誉教授・前文部科学省教科調査官）からは、「富士山への思いを込めた見ごたえのある作品が多かった。高校生の半切作品は、特に芸術性も高く、富士山を深くイメージし、作品にしていることがよくわかる。今後、さらに、富士山を大切に思う気持ちを育むためにも、全国へ一層広げていく活動にしていきたい」とのお言葉をいただきました。

最終審査会風景@毎日ホール

表彰式は、2019 年 1 月 20 日（日）毎日ホールで、受賞者とご家族を招いて行われました。また、「富士山書き初め 2019」受賞作品発表の新聞掲載は、毎日新聞社告および 1 月 17 日(木)毎日新聞夕刊全ページで発表されました。受賞作品は 1/16～23 に毎日新聞社ロビー、 2/23 に「富士山の日」フェスタ 2019 （静岡県御殿場市 御殿場高原ホテル）、2/27 富士山会議総会・理事会会場、静岡・山梨両県の富士山世界遺産センターでの展示いたします。併せて、「富士山書き初め 2019」受賞作品集を作成し、富士山の文化的価値啓蒙の機会をとらえ配布予定です。

5 後援事業および PR/啓発活動

1） 富士山インタビューVol.47～Vol.61 をリリース

「富士山インタビュー」Vol.47～Vol.61 を新たにリリース、啓発の幅の拡大を図りました。

Vol.47 渡井一信 富士宮市郷土資料館館長
Vol.48 大髙康正 静岡県世界遺産センター学芸課准教授
Vol.49 渡辺貴彦 仮名書家
Vol.50 望月将悟 静岡市消防局山岳救助隊員・トレイルランナー
Vol.51 成瀬 亮 富士山写真家

Vol.52　田部井進也　一般社団法人田部井淳子基金代表理事・クライミングジム&ヨガスタジオ「PLAY」経営
Vol.53　齋藤　繁　群馬大学大学院医学系研究科教授、医師、日本山岳会理事
Vol.54　吉本充宏　山梨県富士山科学研究所　火山防災研究部主任研究員
Vol.55　柿下木冠　書家・公益財団法人独立書人団常務理事
Vol.56　菅田潤子　富士山文化舎理事『富士山事記』企画編集担当
Vol.57　安藤智恵子　国際地域開発コーディネーター
Vol.58　田中章義　歌人
Vol.59　千葉達雄　ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会事務局長、NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部事務局長
Vol.60　松島　仁　静岡県富士山世界遺産センター学芸課教授(美術史)
Vol.61　大雁丸一志・奈津子夫妻　御師のいえ大雁丸　fugaku×hitsuki オーナー

かつて北口本宮富士浅間神社の一の鳥居である金鳥居から富士山に向かう道の両側は、"御師の街"でした。
御師とは富士山を御神体とし、信仰のために富士山登山する人たちに宿泊場所として自宅を提供し、
その世話や祈祷を行ったとされる神職のような存在。
最盛期には道の両脇に86軒もの御師の家が軒を連ねていたそうです。
現在、御師業に携わっている人はごくわずかで、上吉田の街に当時の面影はありません。
そんな中、2016年9月に、代々続いた御師の家をリノベーションして
複合型ゲストハウスをオープンした大雁丸一志・奈津子夫妻。その思いを伺いました。

2) PR/啓発活動他

●ベトナムの情報誌「Kilala」の富士山特集に富士山会議関連記事が掲載

ベトナムの女性向け情報誌「Kilala」の富士山特集号(2018 年 1 月 5 日発行)に、菅原久夫さん(富士山自然誌研究会会長・富士山の自然と花を観る会主宰)の富士山インタビューと富士山会議にご協力いただいている富士山関連商品の紹介が掲載されました。

●「富士山大賞」会場で PR・募金活動

2 月 10 日(土)、富士山をテーマとした短歌のコンテスト「富士山大賞」(NPO 富士山自然文化情報センター、富士山クラブ主催、世界連邦文化教育推進協議会、全国富士講睦会、徳大寺文庫共催、外務省、経済産業省、環境省後援)を後援し、日本橋会館(東京・中央区)で開催された表彰式会場で PR・募金活動を実施しました。

●第 22 回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会に参加

2 月 16 日(金)、東京の TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターで開催された、第 22 回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産のリコンストラクションに関する世界動向」に参加しました。「世界遺産条約の運用を踏まえた、リコンストラクションの在り方について」をテーマに、様々な視点からの経過報告や活発な議論が行われました。

●富士山の日フェスタ 2018 について

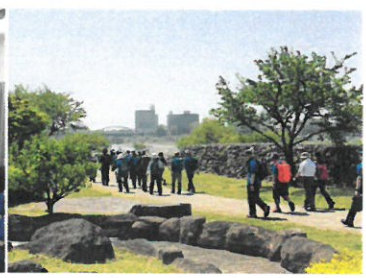
2 月 23 日（金）、ハイランドリゾート＆スパ（山梨県富士吉田市）にて、富士山の日フェスタ 2018 が開催され、青柳理事長以下参席しました。山梨・静岡両県知事等のあいさつに続き、富士の国づくり推進会議共同代表として、青柳理事長が挨拶をされました。両県富士山世界遺産センター館長（遠山館長、秋道館長）の「富士山と水」をテーマとしたリレートーク、一般から募集した同じく「富士山と水」をテーマとした映像作品の優秀作品の発表・審査等が行われました。会場ロビーに「富士山書き初め 2018」の受賞作品を、会場内には「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」教材オンライン配布の紹介と当法人の活動を紹介するパネルを展示。来場者へのチラシ配布も行い富士山会議の活動理解促進を図りました。

●富士山世界遺産国民会議　定時総会および理事会について

2 月 27 日（火）、霞山会館（東京・千代田区）にて 2018 年度定時総会および理事会が開催されました。総会・理事会では、2017 年度活動報告、活動計算書、2018 年度事業計画、活動計画書および一部定款変更の件が審議・報告されました。

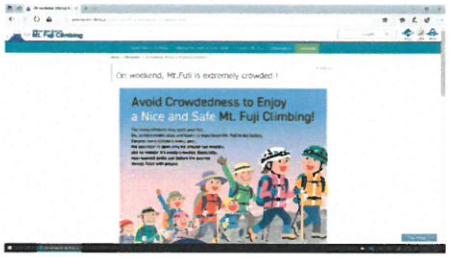
●日本山岳会群馬支部主催「健康登山塾」で PR 活動を実施

4 月 21 日（土）に群馬県前橋市の群馬県庁昭和庁舎と前橋公園で実施された健康登山塾（日本山岳会群馬支部主催）で PR 活動を実施しました。当日は天候に恵まれ、25 名の参加者が座学とウォーキングの実技を受講。富士山会議のポストカード、ステッカー、パンフレット等を配布しました。



●「富士登山混雑予想カレンダー」の告知・広報

静岡・山梨両県が 2018 年より作成した「富士登山の混雑予想カレンダー」が「富士山オフィシャルサイト」に掲出されたのに伴い、当法人のホームページのニュース欄での告知とバナー掲出を実施しました。



●世界遺産登録 5 周年記念シンポジムについて

6 月 22 日（金）、東京都千代田区の都道府県会館にて、「富士山世界遺産登録 5 周年記念シンポジウム」が開催されました。静岡県・山梨県両県知事の挨拶からはじまり、基調講演と「世界遺産富士山の課題と展望」と題したパネルディスカッションが行われ、信仰の対象と芸術の源泉としての文化的価値を改めて発信するとともに、保全の課題が共有されました。富士山会議からは青柳正規理事長ほか、会員、評議員が参加しました。当 NPO の PR 活動として、富士山書き初めチラシ、ステッカー、ポストカード、クリアファイルなどが参加者に配布されました。また、青柳理事長執筆の「未来を担う子どもたちへ　富士（ふじ）の国（くに）づくりキッズ・スタディ・プログラム」も収められた「信仰の対象と芸術の源泉　世界遺産　富士山の魅力を生かす」（発行：株式会社ブックエンド）の出版案内が行われました。

●好日山荘で実施された両県の富士山セミナーで PR 活動

6 月 23 日（土）、静岡県・山梨県両県は、夏山シーズンを前に富士登山予定者向けセミナーを好日山荘池袋西口店で行いました。各登山ルートのガイダンスや注意点、混雑時期を避けた登山のすすめや、必要装備、おすすめのプランなどの説明が行われ、質疑応答では、富士山をめざす参加者から活発な質問がありました。参加者に富士山会議のステッカー、ポストカード、クリアホルダーなどを配布し PR 活動を行いました。

●電通富士登山説明会で PR 活動

7 月 5 日（木）、㈱電通で恒例となっている富士登山（7 月 18 日～20 日実施）の登山者説明会場で、登山予定者、登山委員計約 800 名へ「いつまでも富士山を世界遺産に」ロゴ入りビニールケース、ステッカー、クリアファイルの配布と富士山世界遺産国民会議の活動説明を行い、PR 活動を実施しました。

●Dentsu Fujisan Week で PR 活動

7 月 9 日（月）～20（金） に㈱電通で実施された Dentsu Fujisan Week のエントランス展示において、富士山会議の活動紹介パネル展示と募金箱の設置を行いました。また、同イベント内の各企画においては、富士山会議キャラクターの富士ちゃんが活用されました。

●富士登山者向けPRツールの配布

① 山梨県吉田口の 5 合目～8.5 合目の各山小屋ではポストカード 2018 年バージョンを 4,800 枚配布しました。

② 「いつまでも富士山を世界遺産に」ロゴ入りビニールケースを夏の登山シーズン中に、富士山の各山小屋、登山者セミナー等で配布し、富士山会議メッセージの浸透を図りました。

・山梨県富士山吉田口の 5 合目～8.5 合目の各山小屋　34,000 枚、　・山頂山口屋 200 枚

・公益財団法人富士山をきれいにする会「富士山環境美化前期クリーン作戦 2018」(8/4(土)開催)　1600 枚

・マウントフジトレイルクラブ　500 枚　・松屋銀座"武田菱丸と学ぶ「富士山」"イベント　200 枚　ほか

※会員社の株式会社ヤマップ様に
ご協力いただきました。

富士山吉田口 8 合目　太子館のディスプレイ

③ 株式会社大塚製薬工場様から寄付品としていただいた OS-1 パウダー500ml用を富士山会議ロゴ入りビニールケースとセットして登山者に配布し、メッセージ「いつまでも富士山を世界遺産に」の浸透をはかりました。

・静岡県富士宮市「世界遺産めぐり」「世界遺産周辺ウォーク」参加者 200 袋

・静岡県富士宮市「富士山一斉清掃(5 合目ほか)」参加者 400 袋

・御殿場口新 5 合目「マウントフジトレイルステーション」500 袋　・富士宮口「サンシャインツアー」参加者等　1700 袋　ほか

●「富士登山混雑予想カレンダー」「富士山保全協力金」の PR 協力

富士山の登山シーズンに合わせて、富士山会議ホームページのニュース欄や Facebook 等で情報を告知し、静岡・山梨両県の周知活動に協力しました。

＜7 月 10 日 HP のニュース欄＞

7 月 1 日には山梨県側の吉田ルートが開山。そして今日 7 月 10 日は静岡県側の須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルートが開山です。混雑を避けて、安全・快適な富士登山のために、環境省・静岡県・山梨県が運営する富士登山オフィシャルサイトに今年も「富士登山混雑予想カレンダー」が掲出されています。登山計画の際にぜひご活用ください。最新の富士登山情報は、富士登山オフィシャルサイトでご確認を。

＜Facebook ページ＞

7月 18 日に富士山保全協力金に関して投稿しました。

■いつまでも富士山を世界遺産に（Fujisan World heritage）フェイスブックページ

https://www.facebook.com/Mt.Fuji.Worldheritage/

世界文化遺産登録 5 周年のタイミングで、富士山会議フェイスブックページへの「いいね！」が 8,000 を超えました。

●「第 71 回富士登山競走」でPR活動

7 月 27 日(金)に山梨県富士吉田市で開催された「第 71 回富士登山競走」でPR活動を実施しました。富士吉田市役所～吉田口登山道～富士山頂に至る約 21 キロの山頂コースと、富士吉田市役所～吉田口登山道～5 合目に至る約 15 キロの 5 合目コースに、全国 47 都道府県から 4000 名を超える選手が参加。海外からも 10 ヵ国 50 名の選手が集まりました。レースを終えた選手が集まる富士北麓公園の表彰式・閉会式会場の山梨日日新聞社ブー

スで、富士山会議の活動紹介パネルの展示、選手へのロゴ入りビニールケース、ステッカー等の配布、募金活動を行いました。

● “武田菱丸と学ぶ「富士山」“の事前告知およびPR活動

7月29日(日)に松屋銀座8階イベントスペースで実施された“武田菱丸と学ぶ「富士山」“の開催情報を富士山会議ホームページのニュース欄やFacebookで告知し、イベント当日は会場にて「富士山書き初め2019」チラシ、富士山会議ポストカード、ステッカー、クリアファイル200セットを配布および武田菱丸くんとのクイズ賞品に提供し、PR活動を行いました。

●富士山世界遺産登録5周年記念事業「富士山万葉集シンポジウム」の事前告知およびPR活動

8月2日(木)、静岡市のしずぎんホール【ユーフォニア】で開催された静岡県主催の富士山世界遺産登録5周年記念事業「富士山万葉集シンポジウム」の情報を富士山会議ホームページのニュース欄やFacebookで告知し、イベント当日は会場にて、「富士山書き初め2019」チラシ、ポストカード、ステッカー400セットを来場者に配布しPR活動を行いました。

●富士山保全協力金への協力促進施策について

登山者の富士山保全協力金への協力を促進するため、株式会社大塚製薬工場様から寄付品としていただいたOS-1パウダー500ml用を、富士山会議ロゴ入りビニールケースとセットして、山梨県吉田口で保全協力金を支払った登山者へ期間中に計5,000袋配布しました。

＜配布概要＞

日時:2018年8月6日(月)～8月17日(金)の平日10日間　午前5時～12時

※登山者数の平準化のため、空いている平日登山を推奨しており、平日に配布。

場所:富士スバルライン5合目総合管理センター前(山梨県富士山保全協力金 5合目受付)

配布対象者:富士山保全協力金に協力していただいた方

一日当たり配布数:約500袋(約500名に配布)

山梨日日新聞

2018年(平成30年) 8月7日 火曜日 2版 地域 (24)

入山料の協力者に
補水液の粉末配布

県が富士山5合目で

県は6日から、山梨県側の富士山5合目で、富士山保全協力金(入山料)を支払った登山者に、経口補水液の粉末パックを配布している=写真。県世界遺産富士山課によると、NPO法人富士山世界遺産国民会議(東京)が支援企業から回収の粉末パックの寄付を受け、県に「入山料の協力率アップのために活用してほしい」と寄贈した。

パックは6～10日と13～17日の計10日間、「いつまでも富士山を世界遺産に」と記された携帯用のビニール袋に入れて配っている。配布は各日午前5時～正午で、1日500個(なくなり次第終了)。期間中に5千個を用意している。

同会議の担当者は「協力金は富士山を守っていくために必要な資金。登山者に協力してもらえるきっかけになればうれしい」と話している。

25 山梨 山梨 2018年(平成30年)8月18日(土)

山梨

熱中症予防のパウダー配布

5合目で

富士山保全協力金を納めた人に「OS-1」(経口補水液)のパウダーがプレゼントされた=静岡県富士山課提供

甲府支局

●「富士山環境美化後期クリーン作戦2018」への参加およびPR活動

9月14日(金)、公益財団法人富士山をきれいにする会主催の「富士山環境美化後期クリーン作戦2018」に富士山会議事務局からも参加し、5合目周辺の清掃活動をしました。当日は約300名の参加者へ富士山会議ロゴ入りビニールケースを配布しました。

●第 3 回富士山一周国際駅伝を後援

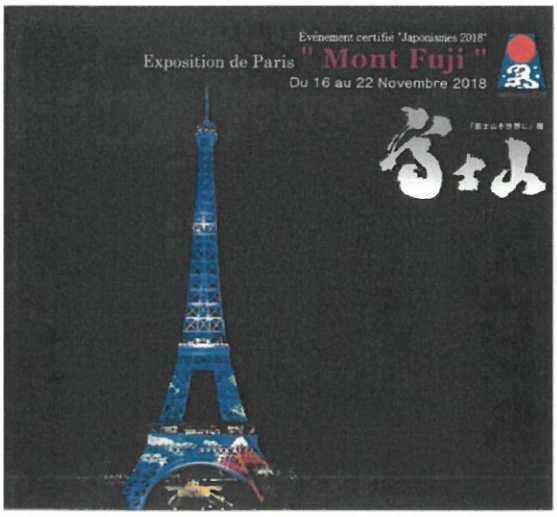
9 月 22 日(土)～23 日(日) 、裾野市運動公園～八木崎公園～裾野市運動公園を主会場に富士山の周りをぐるっと 1 周する全長 153.2kmのコースで実施された富士山一周国際駅伝を後援しました。

●「文化遺産国際協力のかたち―世界遺産を未来に伝える日本の貢献―」シンポジウムに参加

10 月 8 日(月・祝)、東京・大手町の日経ホールで開催された文化遺産国際協力コンソーシアムと文化庁が主催するシンポジウム「文化遺産国際協力のかたち―世界遺産を未来に伝える日本の貢献―」シンポジウムに参加しました。富士山会議の青柳正規理事長(文化遺産国際協力コンソーシアム会長/東京大学名誉教授)の基調講演「国際社会における文化遺産の保護と活用」が行われたほか、このシンポジウムを通して、文化遺産分野における日本の国際協力や特色、そして現在直面している課題を明らかにするとともに、将来に向けたより良い国際協力のあり方が議論されました。

● フランス・パリで開催された「富士山を世界に」展に協力

11 月 6 日(火)～22 日(木)にフランス・パリで開催された『13th「富士山を世界に」展 in パリ』に協力しました。オープニングは大盛況で、会期中も多くの来場者がありました。小学校の課外授業で訪れた生徒たちは、富士山の話を熱心に聴きながら、折り紙を折っていたそうです。



Japonismes 2018 参加企画

13th 「富士山を世界に」展 in パリ

主催：Art Project International G2
共催：銀座 Gallery G2
後援：在フランス日本国大使館
協力：認定NPO法人 富士山世界遺産国民会議

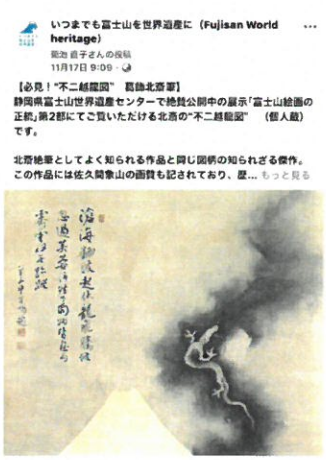
●静岡県富士山世界遺産センター　開館1周年記念コンサートに参列

12月14日(金)に開館1周年記念コンサートが開催されました。東京藝術大学の澤和樹学長らの澤クァルテットによる珠玉の演奏と、美しくライトアップされたセンターの姿が響きあい、1周年の夜を飾りました。同センターは2017年12月の開館以来、国内外から50万人を超える来館者を迎えています。

平成30年12月1日 50万人達成
開館1周年を前に、愛知県からお越しの御家族が50万人目の来館者として祝福されました。

●静岡県富士山世界遺産センターの秋季特別展と12月実施の企画展の告知に協力

静岡県富士山世界遺産センターの秋季特別展「富士山絵画の正統」第2部の開催情報を富士山会議ホームページニュース欄およびFacebookにて告知しました。また、12月15日から始まる企画展「富士山と須走口～須走口登山道調査速報展」についてもFacebookにて告知しました。



6　富士山基金事業と富士山基金への寄付

富士山基金は2006年7月1日に設立。幅広い募金活動を通じて、世界文化遺産富士山の文化的景観を未来に継承するための運動を、地元静岡・山梨はもちろんのこと広く全国にアピール、富士山の保全管理活動を国・地方自治体だけに頼るのではない、新しい官民一体の運動体とすることで、国民の環境や日本の文化に対する意識改革につなげることを目的としています。

2017 年度末富士山基金残高 ： 21,835,339 円
2018 年度富士山基金募金額 ： 6,094,850 円(6,094,997 円と利息 672 円からシステム使用料を減額)
2018 年度富士山基金取崩額 ： △13,770,111 円(振込手数料と残高証明発行手数料含む)
2018 年度末累計残高 ： 14,160,078 円(本口座より振替予定分を含む)

1. 2017 年度富士山基金を利用した PR/啓発活動

1)「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の推進

本年 1 月 15 日(月)に教材のオンライン配布をスタートし、普及活動を継続しています。
金額 1,481,219 円

2)「いつまでも富士山を世界遺産に」啓発ポストカードの作成・配布

登山者、来訪者等への啓発のためのツール「いつまでも富士山を世界遺産に」ポストカードを新たに作成し、本年も山梨県吉田口登山道の山小屋等各所に配布しました。また、各地でのイベント等の機会に配布、世界遺産富士山の保全の啓発に努めました。
金額 460,800 円

3)「富士山インタビュー」の推進

様々な分野で富士山に関わる仕事を続けている方々に登場していただき、富士山との出会い、関わり方とその歴史、富士山への思い等をうかがい、紹介するページを 2015 年からホームページで展開しています。今年度も新たに 15 人の方々をご紹介しました。
金額 2,245,012 円

4) 富士山書き初めコンテストの実施

昨年から開始した、若年層への世界文化遺産富士山の啓発のための企画です。2 回目の今年度は高校生の部を新設してコンテストとして発展させ、13,000 作品を超す応募をいただきました。
金額 9,580,835 円

2. 2018 年度主な富士山基金寄付

【2018 年度 主な寄付者リスト】

寄付者名	金額
朝霧ハイランド㈱	70,000
Virgin group㈱	30,000
㈱NN	2,391
㈱エフ・ジェイ	19,130
㈱小栗農園	177
小田恒一	2,100
故神永秀子様遺贈	432,937
蒲生 由希	3,000

goodbymarket	30,000
㈱ケイミックス	27,810
㈱ケーアイ・フレッシュアクセス	221,064
小西　潤	975
㈱三七七六（裾野もののふの里銘酒会）	37,760
静岡銀行インターネット支店	922,682
静岡県理容生活衛生同業組合沼津支部	5,000
㈱静岡茶園	128,206
菅原工芸硝子㈱	48,335
鈴木健世	5,000
田坂　英樹	6,000
DentsuFujiLoveNetwork	10,000
DentsuFujisanWeek募金	5,909
㈱中川政七商店	288,469
平井麻衣子	2,000
㈱パブリックデザイン	6,998
富士山大賞表彰式会場募金	9,100
第 71 回富士登山競走会場募金	3,279
㈱藤二誠	658,000
FROM　NIPPON	100
㈱ベネフィット・ワン	47,600
峰桜会	5,118
㈱マークス	123,135
松岡ありさ	1,000
㈱丸久物産	29,470
㈱美好商会	10,000
㈱ミロク	22,160
八木良子	10,000
米久㈱	2,776,000
㈱47CLUB	5,800
㈱リュミエール	27,250
㈱ルーク	36,444

（敬称略）　（単位：円）

※寄付者数：　42

※匿名希望の方は表記しておりません

書式第１７号（法第２８条関係）

2018年度　財産目録

2018年12月31日現在

特定非営利活動法人　富士山世界遺産国民会議

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
現金	58,153		
普通預金みずほ銀行築地支店	14,306,752		
前払費用			
前払家賃	437,325		
ソリマチ㈱	32,400		
㈱全販	9,297		
東京センチュリーリース㈱	3,600		
流動資産合計		14,847,527	
2　固定資産			
(1)有形固定資産			
建物付属設備			
事務所内設備工事一式	1		
コンセント工事一式	125,404		
ブラインド工事一式	1		
什器備品			
会議室用大ﾃｰﾌﾞﾙ	1		
シュレッダー	1		
液晶薄型テレビ	1		
ＬＡＮ工事一式	1		
デスクトップＰＣ	1		
ノートＰＣ	1		
デスクトップＰＣ	110,910		
有形固定資産計	236,322		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産計			
敷金	1,200,000		
富士山基金特定預金（ゆうちょ銀行）	2,190,205		
富士山基金特定預金（静岡銀行東京支店普通）	991,542		
富士山基金特定預金（静岡銀行東京支店定期）	10,000,000		
富士山基金特定預金（みずほ銀行虎ノ門支店）	864,723		
投資その他の資産計	15,246,470		
固定資産合計		15,482,792	
資産合計			30,330,319
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金			
派遣職員費	238,748		
通信費	68,689		
コピー代	33,471		
サーバー使用料	64,800		
業務委託費12月	167,056		
流動負債合計		572,764	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			572,764
正味財産			29,757,555

書式第１５号（法第２８条関係）

2018年度　貸借対照表

2018年12月31日現在

特定非営利活動法人　富士山世界遺産国民会議

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金	14,364,905		
前払費用	482,622		
流動資産合計		14,847,527	
2　固定資産			
(1)有形固定資産			
建物付属設備	125,406		
器具什器	110,916		
有形固定資産計	236,322		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
敷金	1,200,000		
富士山基金特定預金	14,046,470		
投資その他の資産計	15,246,470		
固定資産合計		15,482,792	
資産合計			30,330,319
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	572,764		
流動負債合計		572,764	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			572,764
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		36,430,148	
当期正味財産増減額		△ 6,672,593	
正味財産合計			29,757,555
負債及び正味財産合計			30,330,319

書式第１３号（法第２８条関係）

2018年度　活動計算書

2018年1月1日から2018年12月31日まで

特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員受取会費	300,000		
2　受取寄附金			
一般寄附金	26,140,000		
基金寄附金	6,094,997		
3　その他収益			
実費弁償金収入	2,399,760		
雑収入	5,000		
受取利息	785	34,940,542	
経常収益計			34,940,542
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,872,592		
人件費計	2,872,592		
(2)その他経費			
広告宣伝費	648,000		
PR活動費	19,022,503		
研究費	852,834		
ＩＴ関連費	3,368,400		
会議費（業）	204,931		
通信費（業）	487,277		
荷造運賃（業）	112,984		
接待交際費(業)	10,000		
旅費交通費（業）	937,726		
消耗品費（業）	400,012		
印刷費（業）	494,909		
地代家賃（業）	4,253,130		
リース料（業）	147,000		
業務委託費	4,024,629		
その他経費計	34,964,335		
事業費計		37,836,927	
2　管理費			
(1)人件費			
給料手当	718,147		
人件費計	718,147		
(2)その他経費			
福利厚生費	105,000		
通信費（管）	128,075		
旅費交通費（管）	810		
接待交際費（管）	31,100		
業務委託費	500,000		
消耗品費（管）	181,566		
備品費	40,716		
新聞図書費	178,366		
修繕費	15,120		
地代家賃（管）	1,063,282		
租税公課	4,450		
リース料（管）	41,784		
支払手数料	98,201		
会議費（管）	568,757		
減価償却費	63,034		
雑費	37,800		
その他経費計	3,058,061		
管理費計		3,776,208	
経常費用計			41,613,135
当期経常増減額			△ 6,672,593
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ　経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			△ 6,672,593
前期繰越正味財産額			36,430,148
次期繰越正味財産額			29,757,555

書式第１６号（法第２８条関係）

2018年度　計算書類の注記

特定非営利活動法人　富士山世界遺産国民会議

１．重要な会計方針

計算書類の作成は、ＮＰＯ法人会計基準(2010年7月20日/2011年11月20日一部改正/ＮＰＯ法人会計基準協議会)によっている。

（１）棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は最終仕入原価法によるが、重要性の乏しいものは評価していない。

（２）固定資産の減価償却の方法

建物付属設備及び什器備品の減価償却は定額法によっている。

（３）引当金の計上基準

引当金計上の必要性がないため、計上していない。

（４）施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受けた場合には活動計算書に計上する。

２．事業別損益の状況

（単位：円）

科目	富士山世界遺産事業	事業	事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
１．受取会費	300,000				300,000	0	300,000
２．受取寄附金	32,234,997				32,234,997	0	32,234,997
３．その他収益	2,405,545				2,405,545	0	2,405,545
経常収益計	34,940,542				34,940,542	0	34,940,542
Ⅱ　経常費用							
（１）人件費							
給料手当	2,872,592				2,872,592	718,147	3,590,739
人件費計	2,872,592				2,872,592	718,147	3,590,739
（２）その他経費							
広告宣伝費	648,000				648,000		648,000
ＰＲ活動費	19,022,503				19,022,503		19,022,503
研究費	852,834				852,834		852,834
ＩＴ関連費	3,368,400				3,368,400		3,368,400
会議費	204,931				204,931	568,757	773,688
通信費	487,277				487,277	128,075	615,352
荷造運賃	112,984				112,984		112,984
接待交際費	10,000				10,000	31,100	41,100
旅費交通費	937,726				937,726	810	938,536
消耗品費	400,012				400,012	181,566	581,578
印刷費	494,909				494,909		494,909
地代家賃	4,253,130				4,253,130	1,063,282	5,316,412
リース料	147,000				147,000	41,784	188,784
業務委託費	4,024,629				4,024,629	500,000	4,524,629
福利厚生費	0				0	105,000	105,000
備品費	0				0	40,716	40,716
新聞図書費	0				0	178,366	178,366
修繕費	0				0	15,120	15,120
租税公課	0				0	4,450	4,450
支払手数料	0				0	98,201	98,201
雑費	0				0	37,800	37,800
減価償却費	0				0	63,034	63,034
その他経費計	34,964,335				34,964,335	3,058,061	38,022,396
経常費用計	37,836,927				37,836,927	3,776,208	41,613,135
当期経常増減額	-2,896,385				-2,896,385	-3,776,208	-6,672,593

３．施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

（単位：円）

内容	金額	算定方法
該当なし		

４．使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りである。

当法人の正味財産は29,757,555円であるが、そのうち14,160,078円は、下記のように使途が特定されている。

したがって使途が制約されていない正味財産は15,597,477円である。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
富士山基金	21,835,339	6,094,850	13,770,111	14,160,078	
合計	21,835,339	6,094,850	13,770,111	14,160,078	

5．固定資産の増減内訳

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	2,030,364			2,030,364	1,904,958	125,406
什器備品	1,257,024			1,257,024	1,146,108	110,916
投資その他の資産						
敷金	1,200,000			1,200,000		1,200,000
富士山基金特定預金	21,832,119	6,194,803	13,980,452	14,046,470		14,046,470
合計	26,319,507	6,194,803	13,980,452	18,533,858	3,051,066	15,482,792

6．借入金の増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし				
合計				

7．役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りである。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
（活動計算書）		
受取会費	300,000	50,000
受取寄附金	32,234,997	13,950,000
広告宣伝費	648,000	648,000
ＰＲ活動費	19,022,503	8,825,607
研究費	852,834	756,000
新聞図書費	178,366	111,564
活動計算書計	53,236,700	24,341,171
（貸借対照表）		
貸借対照表計	0	0

8．その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・　事業費と管理費の按分方法

事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、通信費、地代家賃、リース料は従事割合に基づき按分している。

・　その他の事業に係る資産の状況

該当なし